



プレーパークニュース

NO. 3

「てんぱくプレーパーク」を見学しました！

- ◆日時 令和2年8月20日(木)午後2時から午後4時15分まで
- ◆場所 名古屋市天白区天白町大字島田字黒石 天白公園内「てんぱくプレーパーク」
- ◆名称 NPO 法人てんぱくプレーパークの会
- ◆連絡先 090 - 2348 - 8521
- ◆参加者 大人6人 (市職員5人、市民参加者1人)
 ※ 今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、一昨年に実施した里山ワークショップ参加者のみへ参加を打診し、1人の参加がありました。

「てんぱくプレーパーク」を運営している方々

代表 ^{さわいふみえ} 沢井史恵さん (左)

プレーワーカー ^{ゆきおか さよこ} 雪岡抄代子さん(右)



てんぱくプレーパーク前の公園風景



プレーパーク小屋の中

見学会Q & A (抜粋)

今回の目的は、長久手市でプレーパーク事業を推進するにあたり、先進地であるこの「てんぱくプレーパーク」を見学させていただき、運営状況や資金調達等について実際にお話を伺って勉強させていただこうというものです。

事前に質問書を送らせていただき、それに答える形でお話しを伺いました。

Q 1 てんぱくプレーパークはいつから活動していますか。

A 1998年「てんぱくプレーパークの会」が発足し、それ以後、民設民営で活動している。発足以前に、市民活動によりプレーパーク的な活動が行われていて、公園が整備される過程で、同会の設立につながったとのこと。

Q 2 利用者数について教えてください。

A 2019年度は、来園者数 11,838人/年(208日間開園、平均約56.9人/日)

Q 3 運営費について教えてください。

A 2018年度は、年間予算約215万円。会費(個人3,000円、法人10,000円)や寄付金、事業収益が主な収入。



Q 4 プレーリーダーについて教えてください。

A ここでは、プレーワーカーと呼んでいる(「リーダー」という呼び方は指導する人と思われるので)が、子どもたちにとっていつも身近にいる人。ただし、子どもの遊びを邪魔しないようにしている。常駐者は、雪岡氏1人で対応。遊びの幅が広がるので、もう1人いると良いとのこと。

Q 5 情報発信方法について教えてください。

A ホームページとフェイスブック、そして参加した子どもたちや親の口コミ。

Q 6 加入している保険について教えてください。

A 賠償責任保険と火災保険に加入

Q7 ケガは子どもや保護者の自己責任と聞いていますが、主催者が責任を問われるようなトラブルは今までないですか。

A 特にないが、ケガ後に声掛けをし、次回来たときにも声掛けを意識している。大きなケガのときは、記録を取ることと、心配なときは救急車を呼んでいる(過去数回呼んでいる。)

Q8 てんぱくプレーパークのこだわりやルールなどがあれば教えてください。

A (フレッカーが)思い込みを捨てる。決めつけない。
子どもの気持ちのペースを崩さない。手出し、口出しをしないで見守る。

Q9 食べ物についてルールはありますか。

A 自分の食べ物は、自分で持ってくる(食べるプログラムの際には、参加費を徴収している)。



設備として、水道と電気があり、少し離れた場所にトイレもある。駐車場は、公園用に100台以上停めることができる。



Q10 焚火や刃物の利用について参加する子どもたちとの接し方を教えてください。

A 年令ではなく、子どもが始めたいときがやるとき。
焚火:風の強さには気をつける。
刃物:刃物を使っている近くで走ったり、押したくないように注意はしている。

Q11 「新型コロナウイルス感染症」対策について実施していることがあれば教えてください。

A 緊急事態宣言後、3月中は一時期休みにした。その後再開して利用保護者を交えて話し合いをして4月から5月末までプレーパークを閉めた経緯がある。それから今まで、半日づつ活動している。

Q12 運営面で苦勞していることは何ですか。

A 広報。活動費を会費、事業費、寄附をメインとしているので、新規開拓と知名度向上のため、会員数を伸ばしたい。

🌳 「てんぱくプレーパーク」情報 🌳

- ホームページ URL <https://tenpaku-playpark.net>
- フェイスブック 「てんぱくプレーパーク」で検索してください。
- Eメールアドレス info@tenpaku-playpark.net



📌 屋根に登りたい子は、小屋左にある立木から自力で登る。登れない子は、まだ屋根に登るには早く、危険とみなされる。こうして危険（ハザード）を未然に防ぐ工夫がされている。

🌳 見学のまとめ 🌳

全国でもめずらしい自ら活動費を捻出（会費・寄附金・事業収益等で全体の8割以上）している活動ということで、それが20年以上続いていることが素晴らしいと思いました。公園の一部を市から借りてその管理を任されているとのことでしたが、公園全体が使えます。

設備としても、水道、電気、トイレ、駐車場が揃っていて、必須設備のプレーパーク小屋は、市の助成で建てられたとのこと。やはり、最低限として土地・施設等のハード面は、行政のバックアップが必要と思いました。当日は、暑い日にもかかわらず7～8組の親子が来て、元気に子どもが遊んでいたのが印象に残りました。

🌳 お知らせ 「プレーパークニュース」バックナンバー 🌳

プレーパークについての活動を記録したニュースレター「プレーパークニュース」を市のホームページからご覧いただけます。

[長久手市役所ホームページ](#)>[子育て・教育](#)>[平成こども塾](#)>[プレーパークニュース](#)

【問合せ先】 〒480-1311 長久手市福井 1590-50 長久手市平成こども塾
☎ 0561-64-0045 email kodomojuku@nagakute.aichi.jp